

## 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 12日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏名	根岸亮平
研究課題	金融商品に係る減損会計の研究—減損モデルの理論的検討—				
研究キーワード	財務会計、国際会計、金融商品、減損	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本年度の研究成果の概要は、下記のとおりである。</p> <p>本年度は、予想損失モデルの適用開始に伴う企業業績への影響を分析するために、各国における予想信用損失についての研究成果について整理を行った。</p> <p>予想損失モデルは、信用損失引当金のプロシクリカリティを低下させ、将来の銀行リスクをより予測可能性を高めることが示されているが、一方で当初期待されたほどプロシクリカリティを低下させているわけではない可能性があることが示唆されている。</p> <p>また、信用状況が悪化した状況では、予想損失モデルによって信用損失引当金が大幅に増加することが明らかとなったため、COVID-19の影響により、信用損失引当金が大幅に増加することが予想される。今後はCOVID-19による企業業績への影響についても研究課題として設定していきたい。</p> <p>本年度は、これらの研究成果を論文として出版する機会等に恵まれず、目に見える成果をあげることが叶わなかった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】特になし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】特になし</p> <p>【学会発表等】特になし</p> <p>3. 主な経費</p> <p>論文作成およびオンラインによる報告のため、主に備品（タブレット端末や文書管理ソフトなど）の購入・書籍代等に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし</p>					
（本文は2ページ以内にまとめること）					